

ラ・パロマ (1974)

LA PALOMA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スイス／フランス
時間 110分
初公開日 1982/11
公開情報 アテネ・フランセ＝スイス大使館
リバイバル 1984/12 [シネセゾン]

【解説】

ひたすら幻想的な“回想”のスタイルに固執するシュミットの、醜悪すれすれの美学が華開く退廃的でオペラティックなメロドラマである。富豪の息子イジドール（ドイツの怪優P・カーン）は、不治の病で余命いくばくもない高級キャバレーの歌姫ラ・パロマ（カーフェン）に一方向的な恋愛をし、結婚をする。が、パロマの病気は持ち直し、彼女はイジドールの友人ラウル（シャテル）と熱烈に愛しあい、ラウルが去った後、衰弱死する。パロマの遺言で三年後に彼女の墓をあばき、その棺を開けたイジドールの見たものは……。人形芝居のごとく様式化され、無機質なカーンとカーフェンの演技に違和感を覚えつつも、観るうちにシュミット一流の耽美世界の虜になるだろう、妖しの映画。

【クレジット】

監督	ダニエル・シュミット	Daniel Schmid
製作	イヴ・ペイロ	
脚本	ダニエル・シュミット	Daniel Schmid
撮影	レナート・ベルタ	Renato Berta
音楽	ゴットフリート・ヒュンベルグ	
出演	イングリット・カーフェン	Ingrid Caven
	ペーター・カーン	Peter Kern
	ペーター・シャテル	Peter Chatel
	ビュル・オジエ	Bulle Ogier